



各位

上場会社名 株式会社 極楽湯
 代表者 代表取締役社長 新川 隆丈
 (コード番号 2340)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理部長 松本 俊二
 (TEL 03-5275-0580)

業績予想と実績値との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

平成22年5月14日に公表いたしました平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の通期業績予想と本日公表の平成23年3月期実績との差異および特別損失の計上に関しまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	300	150	68	6.42
今回修正予想(B)	9,792	151	74	432	40.83
増減額(B-A)	208	149	76	364	
増減率(%)	2.1	49.5	50.6		
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	9,570	251	251	122	11.56

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	300	150	68	6.42
今回修正予想(B)	9,791	155	87	417	39.39
増減額(B-A)	209	145	63	349	
増減率(%)	2.1	48.2	41.4		
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	9,555	254	259	126	11.90

修正の理由

平成23年3月期の連結業績において、売上高につきましては、引き続き雇用環境や所得環境が厳しい状況の中、景気の先行き不透明感にともない慎重な消費行動の影響を受けたものの、お客様の来店頻度や顧客単価の向上を図るべく様々な施策を実施したことにより、概ね予想通りに推移いたしました。3月に発生した東日本大震災にともなう計画停電等の影響に加え、検討していたM&Aが実現しなかったことにより、わずかに予想を下回ることとなりました。

営業利益および経常利益につきましては、厳しい経営環境に対する危機感を全社で共有し、より一層のコスト意識の徹底を推進し収益性の向上に努めましたが、エネルギーコストの高騰や中国出店にともなう諸費用を補うまでに至らず、営業利益および経常利益は当初予想を下回ることとなりました。当期純損失につきましては、資産除去債務を計上するほか、減損損失を特別損失に計上することから、上記の金額となりました。

個別業績についても連結業績予想と同様の状況であり、合わせて修正いたしました。

< 特別損失の計上について >

平成23年3月期は資産除去債務会計基準の適用にともなう影響額126百万円に加え、今般、当社の営業店舗について減損の検討を行い、減損処理(365百万円)を行うことといたしました。この結果、既に当第3四半期までに計上した額を含め、特別損失を連結で561百万円、個別で560百万円計上することとなりました。

以上